

事例 22 地域のニーズに応じた広葉樹の供給

(東北森林管理局 下北森林管理署)



- ・青森県黒石市くろいし
津軽木材流通センター
- ・市場に供給された広葉樹
(令和6(2024)年11月)

我が国では、広葉樹の供給の多くを輸入に依存していますが、近年、海外における森林資源の減少・劣化等を背景に、国産広葉樹への需要が高まってきており、東北地方では内装材や樽材といった広葉樹需要が拡大しています。

このため、下北森林管理署では、人工林において間伐等の森林整備を行う場合に、広葉樹の保残や保護樹帯の設定等を行うとともに、伐採する広葉樹については用途に応じた採材を行って、可能な限り搬出することとしました。

令和6(2024)年度は、クリやホオノキなど219本、約56 m³について、青森県森林組合連合会が開催している「青森県産材フェア」や「県産優良材展示即売会」を通じて地域へ供給しました。買受者からは、「品質が良く、用途に適している」との評価を受けるなど好評でした。

同署では、引き続き、公益的機能に配慮しつつ、広葉樹資源も有効活用し、地域のニーズに応じた国有林材の供給に取り組んでいきます。